

10・11月は

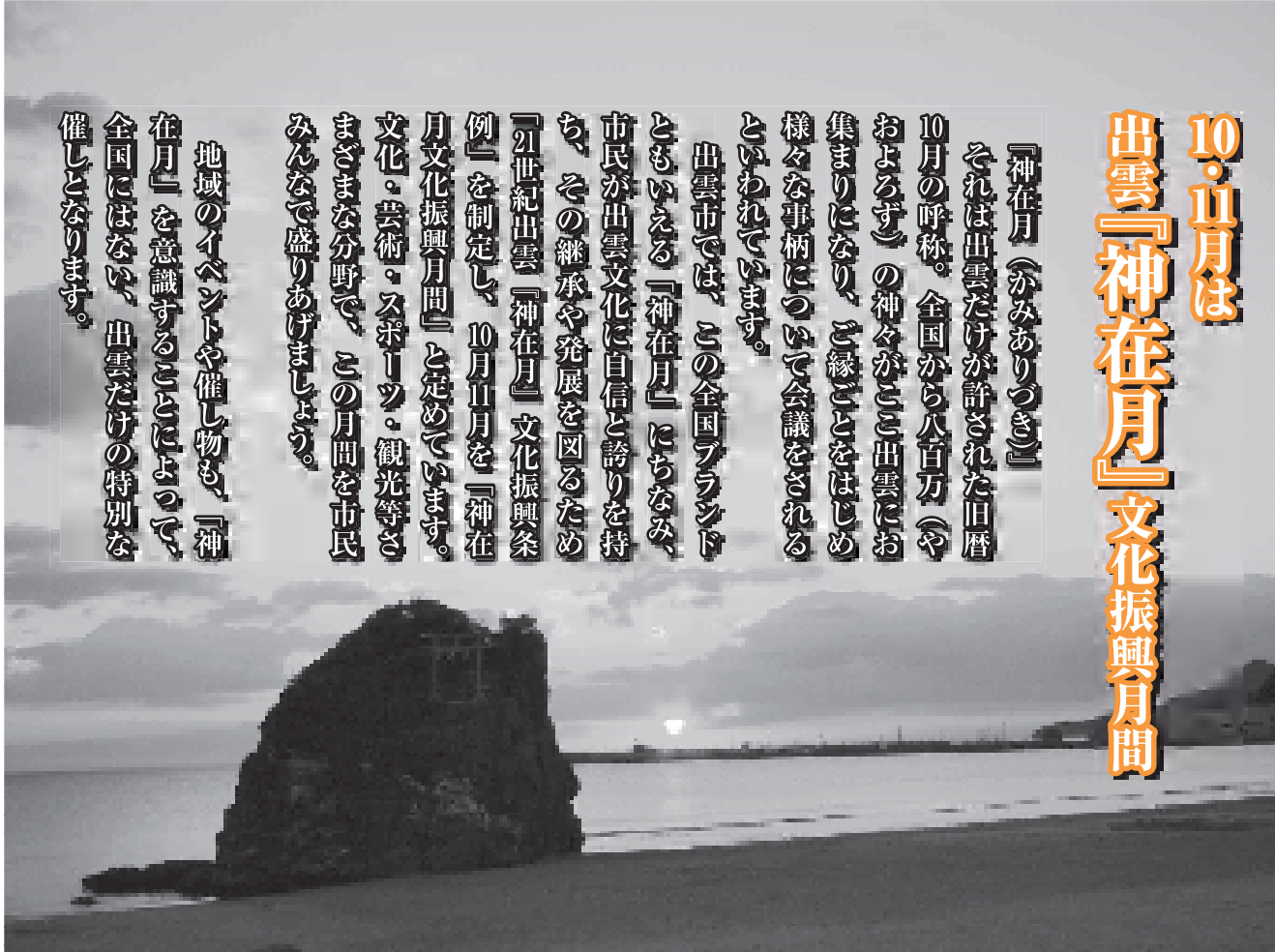
出雲『神在月』文化振興月間

『神在月（かみありつき）』

それは出雲だけが許された旧暦10月の呼称。全国から八百万（やおよぼす）の神々がここ出雲にお集まりになり、ご縁ごとをはじめ様々な事柄について会議をされるといわれています。

出雲市では、この全国ブランドともいえる『神在月』にちなみ、市民が出雲文化に自信と誇りを持ち、その継承や発展を図るため『21世紀出雲『神在月』文化振興条例』を制定し、10月11月を『神在月文化振興月間』と定めています。文化・芸術・スポーツ・観光等さまざまな分野で、この月間を市民みんなで盛りあげましょう。

地域のイベントや催し物も、『神在月』を意識することによって、全国にはない、出雲だけの特別な催しとなります。



神迎の地、国譲り神話の舞台 稲佐の浜

出雲に住む私たちが「神在月」を意識するきっかけに

（出雲神在月 市民芸術文化の祭典で盛りあげます）

第5回目を迎える「出雲神在月 市民芸術文化の祭典」が、11月4日に斐川文化会館で開催されます。

この祭典は、毎年、各地域が会場を持ち回り、それぞれの地域に伝承される伝統芸能や創作芸能を披露し、出演団体と来場者が文化交流を図る場となっています。

斐川町の「こどもをどり塾」で日本舞踊を勉強する子どもたちも、この祭典に向け、お稽古に励んでいます。

今年の祭典の実行委員で、「こどもをどり塾」の指導にも当たる西川沢妙さんは、「観る人、踊る人、それぞれが思い描く神



私たちが心を込めて踊ります。

さまに向かつて踊ります。神々がお集まりになる『神在月』の舞台で踊れることはとてもありがたいこと。」と、意気込みます。

そして、「伝統芸能を伝えていくうえで大切なのは『基本』であり、基本を伝えることは、私たちが種を落として、次の世代がその時代の栄養で花を咲かせる。この繰り返しです。」との思いで、子どもたちの育成に当たられます。

皆さんも、ぜひ「神在月 出雲」ならではのステージで、地域の文化の花に触れて感じてみませんか。



この祭典を、地元の方が「神在月」を思い起こすきっかけにしたいと語る西川沢妙さん。

第5回出雲神在月 市民芸術文化の祭典

— 古代と未来が響きあう —
とき／11月4日(日)13時30分～16時30分
ところ／斐川文化会館 ※入場無料

◆おたすね◆
出雲神在月 市民芸術文化の祭典実行

委員会(斐川文化協会)

TEL 9180

平成24年度 出雲「神在月」文化振興月間の主な催し

事業・イベント名	開催日時	開催場所	問い合わせ先	事業概要
出雲伝統芸能フェスティバル2012 シンポジウム&歌舞伎講座 「芸能のふるさと出雲から、 伝統を未来に結ぶ」	10月13日(土) 開場/14:30 開演/15:00 終演/16:30 (予定)	大社文化 プレイス うらら館	出雲伝統芸能 フェスティバル 東京事務局(SAP内) ☎03-5226-8537	<第1部> シンポジウム 「芸能のふるさと出雲から、伝統を未来に結ぶ」 パネリスト/市川猿之助、田中英機(実践女子大 学教授)、齋藤裕嗣(前文化庁文化財調査官)、 渡部良治(出雲歌舞伎むらくも座座長) <第2部> 歌舞伎講座(ワークショップ) 講師/出雲歌舞伎むらくも座 ゲスト/市川猿之助 ※入場無料(要入場整理券)
出雲伝統芸能フェスティバル2012 出雲大社御奉納 角松敏生スペシャルコンサート	10月13日(土) 開場/16:30 開演/17:00 終演/19:00 (予定)	出雲大社 東神苑	SAP(サップ) ☎03-5226-8537	映画「白い船」の主題歌を歌い、J-POP界をリード する音楽プロデューサー&アーティスト~角松敏生。 アーティストの夢だった出雲大社での初のスペシャル ライブ。 出演/角松敏生 料金/8,500円(全席指定)
出雲伝統芸能フェスティバル2012 「第2回出雲伝統芸能祭」 御奉納歌舞伎公演	10月14日(日) 開場/12:30 開演/14:00 終演/16:00 (予定)	出雲大社 東神苑	出雲伝統芸能 フェスティバル 東京事務局(SAP内) ☎03-5226-8537	襲名間もない市川猿之助が一流の歌舞伎舞踊を披露。 また、出雲歌舞伎むらくも座が神話を題材にした華麗 なドラマを演出。 <第1部>「出雲歌舞伎公演」 出演/出雲歌舞伎むらくも座 <第2部>「市川猿之助 歌舞伎舞踊公演」 出演/市川猿之助 ※入場無料(要入場整理券)
第40回商工まつり	10月14日(日)	出雲市役所 斐川支所 駐車場他	斐川町商工会 ☎72-0674	町内事業所紹介ブース、屋台出店
だんだんソウゾウぶろじょくと	10月20日(土) 10:00~16:00	平田木綿街道 旧石橋酒造	NPO Child Pictures Bank ☎070-5522-2308 (村松)	地域の子供たちへ創作活動の場を提供し、親子のネッ トワークを大切にしていくためにも親子一体となって アートイベントを開催します。折り紙や段ボール、い ろいろな画材を使ってモノづくりに取り組めます。 どんなものができるかはお楽しみに☆ 参加費:親子1組1,000円 対 象:幼児~小学生(家族での参加) 講 師:絵本作家 亀山達也(tupera tupera) 13:00~トークショー、サイン会あり。
第16回 スサノオごっこいまつり (第37回佐田町産業文化祭)	11月3日(土・祝) 9:00~16:00	出雲市役所 佐田支所周辺	スサノオごっこいまつり 実行委員会事務局 (佐田支所地域振興課内) ☎84-0111	佐田地域の特産品の販売・PR、体験コーナー、 スサノオの里ごっこ芸まつり、吉川登龍木彫展、 文化芸術作品の展示 他。
第18回出雲総合芸術文化祭 秋の盆栽展	11月3日(土・祝) ~5日(月)	多伎文化伝習館	多伎文化伝習館 ☎86-2611	多伎町盆栽同好会の皆さんが丹精込めて育てた松等の 盆栽や山野草を展示します。
第2回さんびーの祭り	11月11日(日) 9:30~15:00	さんびーの出雲	さんびーの出雲 ☎24-9828	さんびーの出雲で行われるお祭りイベント。さんびー の出雲を拠点に活動している各種サークルなどのス テージ発表や地元有志による出し物、飲食ブースやフ リーマーケットの出店など。
文化講演会	11月18日(日) 14:00~15:30	湖陵 コミュニティ センター 大ホール	出雲市役所 湖陵支所地域振興課 ☎43-1212	講師に、元NHKアナウンサーの「吉川精一氏」を迎え、 心豊かに人生を送るためのヒントを話していただき ます。
第11回スサノオウォーク	11月23日(金・祝)	佐田町東須佐地区 【メイン会場】 出雲須佐温泉 ゆかり館駐車場	スサノオウォーク 実行委員会 (NPO法人スサノオの風) ☎84-0833	スサノオ神話のふるさと、須佐神社周辺で行われる ウォーキング大会。日本ウォーキング協会の「美しい 日本の歩きたくなるみち500選」に認定された、自然 豊かなコース(7キロコース、10.5キロコース、 15キロコース) 参加費:1,000円(小学生未満無料)
晩秋ひかわ野工藝めぐり	11月23日(金・祝) ~11月25日(日)	斐川町 直江地区内	工芸おかや ☎72-0538	豊かなひかわ野に点在する手仕事の仲間が、創意工夫 を凝らす工藝めぐりは、晩秋の風物詩。木芸体験教室、 木工品特価販売、無料お汁粉等の提供。 出西窯「登り窯・炎の祭り」も同時開催。
むらくも座2012・ 出雲歌舞伎復活公演	11月25日(日) 開場/10:00 開演/10:30	スサノオホール	佐田町文化協会 (NPO法人スサノオの風内) ☎84-0833	出雲歌舞伎むらくも座による出雲歌舞伎の復活公演 演目/ 御日見得口上 一幕 御摂動進帳・加賀国安宅の関の場 一幕 月に泣いたか時鳥・時鳥新吉藤太の伝 四幕
「くはしき出雲」展 ~紡ぎ・伝える日本のこころ~	12月11日(火)まで	出雲キルト 美術館	出雲キルト美術館 ☎72-7146	古事記にまつわる花や衣、布、といった女性の視点か ら見た古事記の世界やこころを、キルト、布、活花、 インスタレーションを融合させ出雲キルト美術館独特 の表現をいたします。「くはし」とは古事記の中にも 表現されている「美しい細やか」といった意味を表す 言葉です。
「デハニ50形」体験運転	毎週 金・土・日	一畑電車 雲州ひらた駅	一畑トラベルカウンター ☎72-3200	雲州ひらた駅構内でデハニ50形の体験運転。 1日コース 13,000円 2日コース 12,000円 マスターコース 8,000円

※このほか開催される催しについては、市ホームページをご覧ください。出雲ブランド室 ☎21-6274 までおたずねください。